

雌阿寒温泉

古代から日本北部の先住民であるアイヌの人々は、雌阿寒岳の西部の麓から湧いているミネラルを豊富に含む温泉に浸かっていました。1914 年に野中一家がこの地に初めての温泉旅館をオープンさせました。野中温泉の周りに旅館が増えていき、その旅館の集まりが雌阿寒温泉として認知され始めます。そして 1973 年に阿寒温泉は、環境省から北海道の 15 つの温泉地帯の 1 つとして認知されました。

野中温泉は現在も営業している唯一の保養所で、雌阿寒岳の山頂までの過酷な登山をした後にお湯に浸かれる場所として、ハイカーに人気となっています。シャワーや石鹸は準備されていないので、ご注意ください。桶で温泉を汲み、体を流すことは出来ます。硫黄の匂いがとても強く、硫黄中毒になるのを避けるためにも、10 分から 15 分以上はお湯に浸からない様にと推奨されています。

雌阿寒温泉は、都道府県道 949 号線オンネトー線上にあり、国道 241 号の分岐点から約 4 キロ離れた所にあります。

雌阿寒岳の山頂に続く雌阿寒温泉の登山道は、温泉から約 200 メートル道路を下ったところにあります。登山口には駐車スペースと公共トイレがあります。

雌阿寒温泉から伸びる他の林道は、駐車場からオンネトー野営地に続いています。この遊歩道は全長 2.4 キロメートルで、所要時間は約 50 分となっています。アカエゾマツの原生林では、クマゲラやアジア唯一のシマリスであるエゾシマリスなどの野生動物を目にすることができるかもしれません。